

一 人口の動き 一

12月末日現在  
 ( ) は11月末との比較  
 人口 5,897人 (+4人)  
 男 2,888人 (+4人)  
 女 3,009人 (±0人)  
 世帯 1,268世帯 (-1)  
 出生 7人 死亡 0人  
 転入 5人 転出 8人

広報

わしま

発行  
和島村役場企画課  
 発行日  
昭和51年2月1日  
 印刷所  
西山町 三共印刷



「サイ」の神



一月十五日夜、家内安全、五穀豊穰、無病息災、交通安全などを祈つて、小島谷地区で「サイの神」が行なわれました。

長い間中止されていたものを、小島谷青年会行事の一環として復活し、今年で三年目となります。

材料集めから出来るまでまる一日かかり、竹、ワラのうち、とりわけワラは農作業の機械化のためなかなか集まらず、必要な分を集めるのに区長さんにまでお願いしたほどでした。

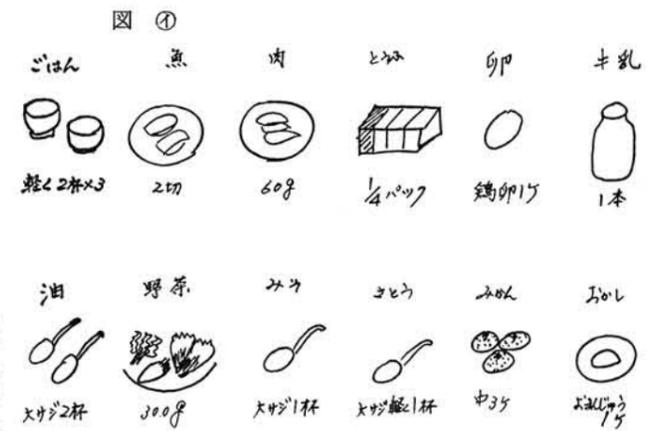
七時半すぎに火がつけられると、かど松や習字を持った人達が方々より集り、焼いて食べると風邪をひかないといわれる、するめやもちを手にした子供達でうずまりました。

炎が赤々と燃え上ると付近一帯ではいろいろな祈りがかけられ、青竹の割れる音が遠くまで聞こえたのしい夜でした。

運転が示すあなたのお人柄

2月の心配ごと相談

日時…… 5日と25日  
午前10時から午後3時まで  
 場所……福祉センター  
 内容……生活相談、医療相談、家事相談、児童相談、身障相談、職業相談ほか



(表1) 単位カロリー

労働性別	軽い労作		ふつうの労作		やや重い労作		重い労作	
	男	女	男	女	男	女	男	女
20~39	2,200	1,800	2,500	2,000	3,000	2,400	3,500	2,800
40~59	2,000	1,700	2,300	1,900	2,800	2,300	3,700	3,100
60代	1,800	1,500	2,000	1,700	2,400	2,000	3,200	2,700
70代	1,600	1,300	1,800	1,500	2,200	1,800	3,000	2,500
仕事	事務、主婦		集金人、研磨工、機械組立工、機械織り		農夫、とび職、鉄筋工		伐木夫、採炭夫	

「新潟の塔」建設寄金について(報告)

昨年末区長さんを通して、沖繩に建立する新潟の塔の建設資金の募金を、実施しました。金額は、八九、二一〇円になりました。一月十日に沖繩にて「新潟の塔」の除幕式が行なわれ、みなさんの浄財も

この一部になりました。ご協力ありがとうございました。部落別の募金額は、次のとおりです。

上小島	3,050円
中小島	3,200
下小島	2,650
駅前	8,200
下富野	3,000
若野	950
阿弥陀	1,550
高畑	1,400
日野	2,500
中沢	3,900

2月農業後継者研修計画

日	曜	種	目	内	容	時間	場所
19~18	日	種	目	内	容	時間	場所
木~水	曜	種	目	内	容	時間	場所
交歓会	体力作り	交歓会	初歩のスキーを習得する	交歓会(他のクラブと)		午前九時~十二時	六日町

2月の保健衛生行事

日	曜	種	目	対	象	時間	場所
27	金	健康相談	家族計画又は健康について相談のある方			午前九時~十一時	福祉センター
20	金	妊婦検診	妊婦	卒中後遺症者機能訓練		午後一時~三十分	福祉センター
19	木	二才児検診	昭和48年4月2日~昭和48年9月30日の出生児				
17	火	乳児検診	満三ヶ月以上の乳児				
12	木	妊婦検診	妊婦				
9	月	リハビリクリニック					
7	土	健康相談					

町	種	数	合計
荒新中下川	道法寺小合	4,550	89,210
卷田	上下端下町町谷計	1,350	
梅保	東村城両坂上三瀬ヶ北根	3,550	
田内	田丘高谷桐谷野屋	2,600	
梅保	中之高	2,050	
田内	田高谷	3,650	
梅保	城高	1,400	
田内	田高谷	9,950	
梅保	之瀬ヶ	1,800	
田内	田高谷	5,300	
梅保	北根	1,000	

に含まれています。それでは私達は一日にどれ位のカロリーをとつたらいいのでしょうか。そのめやすとして厚生省では年齢別、労働強度別に値を示しています(表1)

二千カロリーを栄養のベースを考えて食べる一例として図①のようになります。カロリーを取りすぎて肥満にならないよう気をつけたいものです。

危ないと子をしかるより手を引こう

# 幸せを明日につなぐ 火の始末

雪国に住む私たちにあっては冬は数々の悪条件がありイヤな季節ですがお互いに協力しあうことが大切と思えますが、万一の火災に備え、消火栓や水利(防火水槽、池、ブール沼など)がすぐ使えるよう附近の皆さんで除雪に協力して下さい。

消火栓には赤い布きれなどで目じるしをして置いて下さい。各道路の除雪については職員が深夜より出勤し最善の努力をしておりますが、一夜による豪雪など色々な悪条件のなかで火災が起きますと、消火活動が手間どり、大事にいたることを考えられますので火の元には充分気をつけましょう。

- 一、外出や就寝前には必ず火の元の点検をしましょう
- 二、たばこの投げ捨てや寝たばこは絶対やめましょう。(たばこによる火災は、いつも火災件数の上位を占めています。飲酒後の寝たばこも大きな原因となつていきます。)
- 三、暖房器具を正しく使しましょう。(石油ストーブ等の暖房器具による火災が年々増えています。これはストーブの近くでガソリン等を使ったため引火したり、燃焼中に給油してあふれた油に引火したり、カーテンやふすまなど燃えやすい品物の近くで使用したため火災になつたなどがあります。暖房器具の位置や取扱いは正しく行いましょう。)
- 四、消火用具を準備しましょう。(どんな火災でも早く処置すれば最少の被害ですみます。消火器を備え使用方法を身につけましょう。消火器がないときは水バケツをいくつかわ用意して下さい。)
- 五、火災が起きたときのために老人、幼児、病人は避難しやすい場所へ避難させ、あらかじめ避難路を定めておきましょう。

## 消火器の押売り に注意

最近消火器の家庭訪問販売において、詐欺的あるいは恐喝的な方法で強引に消火器を押し売りする者がありますので注意して下さい。役場や消防団ではこのような押し売りとは行つておりません。不審に思つた時はすぐ警察か役場へ連絡を。消火器は正しい業者から。

今年も大豊作

一月十四日の夜、島崎の宇奈具志神社に於いて、五穀豊凶を占う簡粥祭りが行なわれました。

この行事の起りは、その昔神様がなべの蓋に乗つておいでになり、農作物の豊凶を占つたのが始まりといわれ、この神様は農耕だけでなく、糶酒の神でもあつた。

祭りは十四日の夜八時半頃より始まり、土釜になべを掛け、豆米で粥を炊き、粥の中に札を付けた筒(葺の節)を一何つぶ入るかで、豊作か凶作かを占うもので七百年ほど前から行なわれていました。

昔はほうほうから多くの人が集つたという事ですが、今では、四十〜五十人位の近所の方々だけになつていまして、今年の占いは、苗などは十七粒も入るなど、全部大吉と出ました。占いどおり大豊作となりますよう。

宇奈具志神社  
五穀成就  
早稲大吉  
中稲大吉  
麦大吉  
登大吉  
苗大吉



たばこは村内の小売店から買ひましょう。村の財源として、大きな役割を果しています。

## 少しもこわくありません

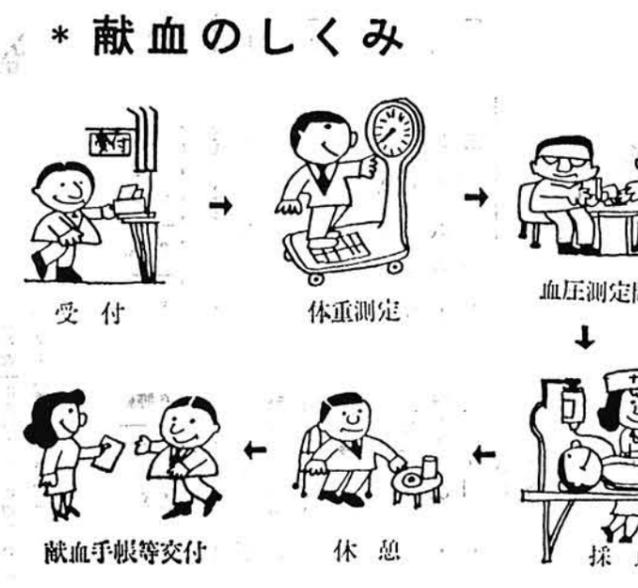
### はじめての人の協力を

今年第二回目の献血「ゆうあい号」がまいります。冬期間は降雪等の気象条件もあり献血が大巾に減りますが、交通事故や論議を必要とする人々は季節に関係なくあります。このため保存血液が不足してあります。他人のためと思わず自分や家族の不慮の事故、病気に備え、健康の時に一家に一人以上必ず献血しましょう。

まだ献血したことのない方の協力を強くお願いします。

満十六才以上六十五才未満の健康な方なら男女を問わず誰でもできます。

採血は一人一回二〇ミリリットル(約牛乳びん一本)で普通、健康体であれば採血後すぐ仕事をしてもさしつかえありません。献血して下さい方には、



献血手帳を差し上げます。手帳は全国共通ですから、本人は勿論、家族や知人がもし輸血が必要になつたときには、献血手帳を病院へ提示して下さいます。必要量の保存血液を赤十字血液センターが責任をもつて供給いたします。

血液型検査や梅毒、肝臓機能の検査、体重、血圧、血液比重の測定など無料で健康診断を受けていることにもなるわけですね。

献血に皆さんの協力をお願いします。

日時  
二月十六日(月)  
午前九時三十分〜午後三時  
場所  
福祉センター

## ナースバンク開設

### 在宅看護婦の再就職をあつせん

結婚、育児などで離職した看護婦の再就職をあつせんするののがこのナースバンク(看護婦銀行)の役割です。このしくみは就職を希望する看護婦、助産婦、看護婦、保健婦、助産婦、看護婦、看護婦の就職希望条件を保健所と公共職業安定所に備えてある台帳に登録します。一方看護婦を求める医療機関も希望条件を台帳に登録し、できあがつた登録台帳をもとに、公共職業安定所が具体的な個々のあつせんをするというものです。

この登録は年一回の求人求職調査の他、いつでも保健所、公共職業安定所が受けつけて

医学、歯学の教育で行われる解剖実習に、自分の死後、遺体を提供することを「献体」といいます。

解剖学実習は、人体構造を知るために必要な学問であり、将来の立派な医師、歯科医師を育てるためには、最も重要な学問のひとつです。

この医学教育にかかせない遺体の確保は年々むづかしくなっており、文部省の基準では学生二人に一人が必要となつてくるにもかかわらず、十人に一人がやつとというのが実情です。

東する篤志家の団体として「白菊会」が結成されており、より良い医師を育てるため医学の進歩のために献体しようという会員を募集しています。

入会しても会員に特別な報酬はありませんし、なにがしの理解と協力をお願いいたします。尚献体についての詳しいことは次へお問い合わせください。

白菊会新潟大学支部  
新潟市旭町通一  
電話 新潟23-16161  
内線 307

## 林産物栽培加工施設完成

昭和五十年、新潟県農林水産業開発事業に於て林業重点開発事業の林産物栽培加工施設事業を昨年十月より工事をすすめてまいりましたが、この三島郡北部森林組合製材加工所協に完成致しました。

事業の必要性は申すまでもなく、最近の特殊林産物の需要はめざましく、当地のキノコ栽培者も年々増加し年間生産されるキノコの量も(生シイタケ)十八トと多く、特殊林産物の中ではトップに立っています。この生産者の便宜を計るべく計画されたもので、集出荷所の建設や、乾燥機の導入により、端境期の出荷を容易にして安価で良質の乾シイタケを出荷し、需要に際するよう計画されていまして、又ビニールハウスを利用して、不時栽培を実施し市場との流通を密にし、原木供給に於て軽架線を導入することに より原木供給をスムーズにする等々、生産と需要のバランスも考慮された事業です。

今後シイタケ栽培を計画される方、または栽培拡大される方は三島郡北部森林組合に相談のうえ有利な林産物経営にお役立て下さい。

## 医学のために献体を

医学、歯学の教育で行われる解剖実習に、自分の死後、遺体を提供することを「献体」といいます。

解剖学実習は、人体構造を知るために必要な学問であり、将来の立派な医師、歯科医師を育てるためには、最も重要な学問のひとつです。

この医学教育にかかせない遺体の確保は年々むづかしくなっており、文部省の基準では学生二人に一人が必要となつてくるにもかかわらず、十人に一人がやつとというのが実情です。

東する篤志家の団体として「白菊会」が結成されており、より良い医師を育てるため医学の進歩のために献体しようという会員を募集しています。

入会しても会員に特別な報酬はありませんし、なにがしの理解と協力をお願いいたします。尚献体についての詳しいことは次へお問い合わせください。

白菊会新潟大学支部  
新潟市旭町通一  
電話 新潟23-16161  
内線 307

